

(一社) 石川県医療ソーシャルワーカー協会 災害支援活動について

1.5次避難所 いしかわ総合スポーツセンター
2024.5.29修正

1.5次避難所 スポセン

1.5次避難所は、
スポーツセンターと
産業展示館2号館の2か
所でしたが、**3/8で、ス
ポーツセンターに集約
されました**



1.5次避難所スポセン 概況 5/25時点

①メインアリーナ	②サブアリーナ
<ul style="list-style-type: none"> 要支援から要介護1・2自立の方。 介護認定の有無や必要性について多職種で検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護の方が多い。施設入所や在宅生活していた方 医療行為・医療ケアなし。
<ul style="list-style-type: none"> 多職種による情報共有 ケアマネジャーや市町行政と協働で施設入所支援 仮設住宅、みなし仮設住宅、ライフライン復旧や修繕と並行しての自宅など、様々な背景に応じて退所支援 <ul style="list-style-type: none"> 居宅ケアマネジャー、地域包括支援センター、相談支援専門員等への引継ぎ 退所後の受診受療相談 生活移行に係る経済的課題への対応や、災害に関する手続き支援 	



診療所・内服処方
 保険診療は定期処方のみ。
 医師は平日半日。

MSWブース

(マルチパーパスルーム)

1.5次避難所

いしかわ総合スポーツセンター

(<https://www.ishikawa-spc.jp/>)

1.5次避難所本部

(スポーツセンター2階)



2F

MSWブース
8:50 (集合場所)



1F

スポーツセンター避難所入口。立て看板あり。
スタッフは、ここから入る。
マルチパーパスルームとプールとの通路から右
に入ると、サブアリーナとマルチパーパスルーム
の入り口に。MSWブースで靴を履き替え 集合
8:50頃

1日の流れ

日本協会MSW・日本MSW協会にボランティア登録したMSWで、日本協会理事などの役職者ばかりではありません。

全国から石川県に来て、5日間以上の支援活動に参加するMSWの方々です。

その派遣者の中で、責任者1名が、全体の会議への参加や、MSW業務の割り振りを担当しています。

時間	主催	会議等名	メンバー	行うこと
9:00	県	ケース全例カンファレンス（月・木） 場所：2階対策本部	MSW協会・DWAT・ケアマネ協会・石川県適宜、相談支援専門員協会 各団体代表者参加。	ケース全例の進捗
		相談支援ミーティング（火・水・金・土） MSWブース	MSW協会 当日の活動者 DWAT代表者 石川県	ケース情報共有
11:30頃 早まると きあり	県	スポセン全体会（月木）	各団体代表者 MSW協会・DWAT・ケアマネ協会・阪急事務統括・阪急看護師・法人経営協（介護） 石川県・県リハセンター・地域医療推進室 栄養士会・看護協会・5月末で撤退	運営に関する会議
17:00頃	日本協会	日本協会スポセンサポートミーティング（金）17:30~17:35 Zoomミーティング	県協会・日本協会MSW 日本協会災害対策本部・ これまでの現地責任者等	共有・課題検討

1.5次避難所 主な業務内容 5/25時点

業務内容	方法・関連団体
入所や転所（メインアリーナ⇔サブ）時の情報共有、アセスメント	病院から入所時の情報共有、アセスメント。適宜、家族等への連絡。 スポーツセンター内の多職種、及び、適宜、入院元のMSWとの連携
受診・受療援助	体調悪化時の通院相談、介護タクシーなどの手配、センター内の多職種共有、退所後の受診相談
介護保険（新規申請、区分変更） 主治医意見書作成援助	医師、看護師、介護、DWATなど
介護施設入所調整	ケアマネに施設申し込み・マッチング待機状況の確認。 本人・家族等との連絡の上、新規の申し込みの依頼
仮設・みなし仮設・介護施設等への移行支援・退所支援	DWAT、ケアマネ等関係団体と情報共有、適宜、面接し、支援方針の検討

MSW対応依頼

- ①搬送調整・受診援助
- ②主治医意見書作成支援
- ③長期入所リスト対応
(県から依頼)
- ④新規入所アセスメント
- ⑤転所アセスメント
- ⑥その他

1. MSWケース番号付与「業務台帳」に入力

ケース番号...MSWケース番号

1 ケース番号/人

再入所の場合、退所前を1.1 再入所後に1.2とする。

進捗

新規...依頼受けMSW

継続中...引継ぎ含む継続対応のMSWが「継続中」とする。

終了...転帰確認MSWが、退所日、退所先を入力し「終了」とする

保留・入所中...入院など再入所の可能性ある場合。退所を確認して終了とする

依頼内容...対応依頼①～⑥を記載。

依頼元...新規の依頼元

依頼受付日 (MSW介入) ...新規介入日

依頼受MSW...新規依頼受けMSW

整理番号...スポセン避難所の番号

対応日...直近の対応日

対応MSW...直近対応したMSW名

直近の対応内容・支援のポイントを記載

2. MSW「アセスメントシート」「ケース記録」に記載

新規依頼

「アセスメントシート」→アセスメントシートを記載

経過記録

「ケース記録」に記載する

介護認定結果通知書は、個別記録のクリアブックに同封する

退所

退所済みのリングファイルに移行する。

3. ソーシャルワークサマリーを作成

準備するもの

問い合わせ先：
災害支援委員会担当理事 林真紀
やわたメディカルセンターMSW直通電話0761-47-7522
当日の連絡 林の携帯090-2128-6747 日本協会MSW携帯090-4723-9211
石川県協会メールアドレス iamsw.ishikawa@gmail.com

- 筆記用具
- 内履き・・・MSWブースで、内履きに履き替えます。
- 消毒液・不織布マスク・・・MSWブースにN95マスクあり。消毒液は支給もあり
- 昼食・・・持参するかスポーツセンター前のコンビニ。
- PC・・・日本協会3台、**県協会2台**準備しています。
県協会のPCは、使用前後に管理簿にて備品チェックの上、ご使用ください。
使用前後の氏名の記載をお願いします。
Googleドライブ使用。
PC、タブレット、スマホなどを使用する際は持参ください。
日本協会のWi-Fiあり
- プリンター・・・日本協会が準備しています
- ※ボランティアは、アプリで健康状態を日々入力します
- ビブス・クリップボードは、MSWブースにあります。
- 外履きや荷物はMSWブースに置けますが、貴重品・筆記具・消毒液は持ちましょう

活動登録の流れ

問い合わせ先：

災害支援委員会担当理事 林真紀

やわたメデイカルセンターMSW直通電話0761-47-7522

当日の連絡 林の携帯090-2128-6747 日本協会MSW携帯090-4723-9211

石川県協会メールアドレス iamsw.ishikawa@gmail.com

活動参加を希望する会員は、Google フォームにて 活動登録
(活動期間中、何度でも可能) <https://forms.gle/QbFyudxGyFLxKXry5>



(一社) 石川県医療ソーシャルワーカー協会
主にメールにて日程調整の連絡

(公社) 日本医療ソーシャルワーカー協会
①希望者に派遣依頼文書の送付 ②ボランティア保険加入

(一社) 石川県医療ソーシャルワーカー協会
主にメールにて、活動時の留意事項を連絡

1.5次避難所 いしかわ総合スポーツセンターにて活動

1.5次避難所いしかわ総合スポーツセンター経過 石川県からMSWへの派遣依頼

- 1/14・15 石川県と協議
石川県協会 中宮会長・尾角副会長・中本副会長・島野副会長
日本協会 野口会長・山崎事務局長
- 1/17 石川県協会 1.5避難所 避難所運営のYMCAより概要説明
日本協会 全国の会員に支援活動協力依頼を发出
- 1/21 1.5次避難所いしかわ総合スポーツセンター見学
- 1/22 1.5次避難所 石川県協会・日本協会の連携による活動を協議
中本副会長・河原監事・林理事。日本協会と共に活動開始
- 1/27 1.5次避難所への退院支援開始
- 1/30 石川県協会理事会にて活動報告及び、今後の活動方針決定
- 2/1～3 県協会会員による1.5次避難所見学
- **1/22～3/31までに 44名 県協会から派遣**
48名 日本協会から派遣

1.5次避難所いしかわ総合スポーツセンターでの支援活動中

私たちの支援の基礎となる考え方

災害支援の3原則:

「被災者中心」

被災方には力がある・そのちからを信頼していく

「地域主体」

これまで築いてきた地域性(文化・習慣・価値・つながり等)を尊重し、そこから育まれた力に即した支援を展開する

「協働」

誰も“ひとりで生きていない”ーひとは繋がりの中で生きていると同じ。“ひとり(ひとつの団体で)でできる支援はない”様々なひとや団体の結集でしか被災者の方に届く支援は作られない

活動のお約束

- 体調が整っていること**
- 安全運転を約束できること**

以上2点

何ができるのかなあ 誰かの迷惑にならないかな…

そんな不安を抱くことがあるかもしれません

でも大丈夫。2点のお約束だけを意識していただければ大丈夫です。

